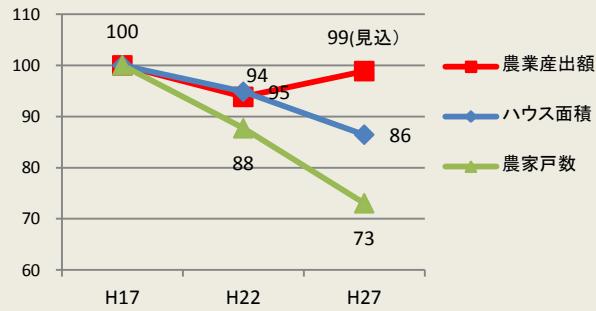
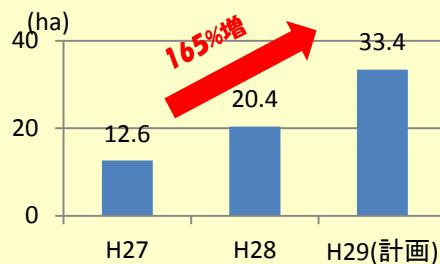


園芸農業を核とした農業クラスター形成のための支援策の充実

現状 高知県では、農家戸数、ハウス面積が減少する中、農業産出額を維持！



県内の次世代型ハウスの整備状況



環境制御技術の導入戸数



身近な成功事例が増え、農家同士の口コミで取り組みが増加

環境制御技術など生産基盤の強化に取り組む農家が急増！
クラスター形成の取り組みも各地で拡大中！！

5つの農業クラスター形成の取り組みがスタート！！

さらに！ 薬やショウガを核とする2クラスターの取り組みも追加！！

今後の方向性

- ・反収アップ(環境制御技術など)で儲かる農業に
- ・地域の農業をけん引できる企業的経営体を育成



- ・クラスター化で関連産業を集積させ、さらなる付加価値向上と雇用の拡大を目指す。

提言1. 強い農業づくり交付金の予算確保

・総合的な対策が計画的に実施できる強い農業づくり交付金の安定的かつ十分な予算の確保。

提言2. 産地パワーアップ事業の継続と予算の確保

・産地強化に動き出した担い手への継続的な支援のため、産地パワーアップ事業の継続と計画的に取り組むための十分な予算の確保。

提言3. 低コスト耐候性ハウスの要件緩和

・次世代型ハウスの整備を推進するため、国の補助対象となっている低コスト耐候性ハウスの構造基準の緩和。

提言4. 農地中間管理機構と連携した新たな基盤整備事業の創設

・中山間地域等の地理的条件を踏まえた面積要件の設定。
・放置された農業用施設等の撤去費の補助対象化。

提言5. 農地耕作条件改善事業における集約農業型高収益作物導入促進対策の創設

・収益性の高い施設園芸による集約型農業を加速化する助成事業の創設。

この機を逃さず取り組みを一気に加速化！！

課題

増加する取り組みに対する十分な予算確保が必要。

課題

国の補助対象となっている低コスト耐候性ハウスの基準では整備コストが高い。

課題

クラスター形成の核となる園芸農業に必要な農地の確保。

取り組みが順調に拡大している！！

課題
これまで以上の低コスト・高品質・高収量生産が求められる。

課題
規模拡大に必要な労働力の不足。

課題
規模拡大に必要な資金の確保。

提言9. IoT、AI技術を活用した地域内高度生産技術システム開発への支援

・IoT、AI技術を活用した地域内高度生産技術システムの開発を支援する事業の創設。
・IoT、AI技術を活用できるスキルを持った指導者を育成するための研修制度や外部の専門家の活用を図る制度の創設。

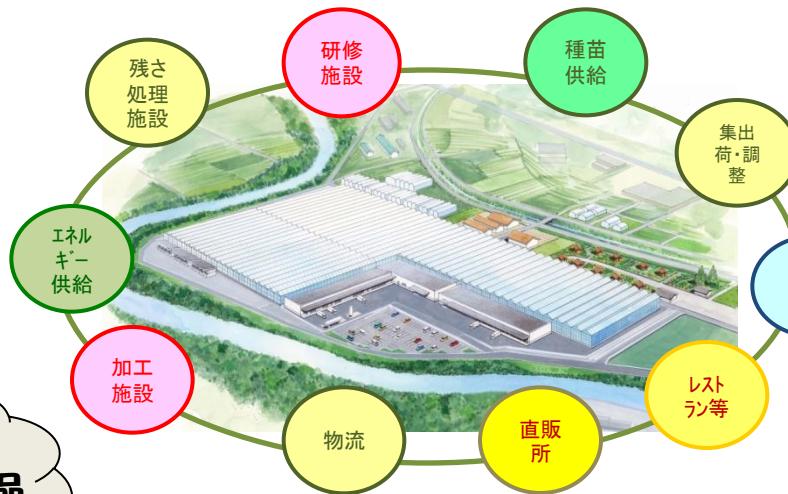
提言6. 農業経営の発展に必要な労働力の確保

・県域や全国規模での労働力を確保・調整する取り組み強化に向けた、予算確保と支援メニューの拡充。

提言7. 農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)の拡充等

提言8. 青年等就農資金の償還期限の延長

・規模拡大を行う生産者が制度資金を利用しやすくする。



集中的に課題を解決！！

目標 現在7カ所⇒⇒平成31年度13カ所に！！